

## 未来を拓くりハビリ支援ロボット TEM LX2 typeD がグッドデザイン賞を受賞

2003年3月販売開始以来、病院、介護施設などでご好評をいただいている「ベッドサイド型下肢運動療法装置TEM LX2 typeD」が2007年度グッドデザイン賞【新領域デザイン部門】を受賞しました。

グッドデザイン賞は、1957年にスタートした、わが国で唯一の総合的デザイン評価・推奨の仕組みです。「デザインが優れたものごと」を選び、生活者や産業などに働きかけ、私たちの社会をより豊かな方向へ導いていこうとする活動を続けています。その中の【新領域デザイン部門】は、商品や施設づくりを通して、地球環境問題、高齢化問題をはじめ、よりフレキシブルな生産、販売システムの確立、あるいは地域文化の形成といった課題への積極的な取り組みを対象としています。

TEM LX2 typeDは、脳卒中をはじめとする脳血管疾患患者など、運動機能に障害をもつ方がベッドに寝たまま機能回復訓練を行うことができるリハビリロボットで、理学療法士などリハビリテーションの専門家がよく使用する下肢運動パターンを内蔵し、対象者の脚の長さに応じて、いつでも、何時間でも、安全に関節を動かしてくれます。すなわち、これからますます進展する高齢化によるリハビリ需要の拡大に対して、少子化によるリハビリサービスの供給不足が懸念されるという社会的な期待に応えた製品であると言えます。



グッドデザイン賞  
の2次審査会場風景



ベッドサイド型下肢運動療法装置  
TEM LX2 typeD



グッドデザイン賞審査員のコメントは、「運動療法装置の1つとして面白い提案。プロの看護師や理学療法士などのリハビリ運動パターンを内蔵させ、模倣させるといった実践的、合理的なデザイン発想も評価できる」とあります。まさに、審査基準の「良いデザインであるか」「優れたデザインであるか」、そして「未来を拓くデザインであるか」のすべての点で評価されたと言えます。

今回のグッドデザイン賞は、ひとつの製品が受賞したというよりは、当社が生活・産業・社会の未来に向けて積極的に取り組んでいることを、改めて評価された結果と言えるでしょう。当社は、今後とも社会のニーズに合致した人に優しい技術・製品を提供しつづけ、人々の豊かな暮らしに貢献することを目指してまいります。

- 「グッドデザイン賞」公式ホームページ：  
<http://www.g-mark.org/>
- TEMについての詳しい情報：  
<http://www.emechatronics.com/product/robot/medical/>

■お問い合わせ先： ロボット事業部 新規ロボット事業推進部  
TEL: (093) 645-7710 FAX: (093) 645-8136

## 生産能力倍増、年間150万台、生産性50%アップ インバータ新工場 DRIVE CENTER 竣工

好調に推移する当社インバータ事業の受注と今後の新製品投入による拡販計画に対応するため、インバータ製品の品質強化と生産能力の向上を目的として、このたび、行橋事業所の敷地内に新工場DRIVE CENTER(ドライブセンタ)を建設し、2007年8月8日に竣工しました。生産設備の移転を完了し、このたび本格稼働を開始しました。

9月26日(大安吉日)爽やかな青空の下、DRIVE CENTER(ドライブセンタ)のお披露目会(工場見学会)を開き、約250名に及ぶお客様にお越しいただきました。終了後、笑顔と会話が絶えない祝賀パーティーが盛況裡に行われました。



DRIVE CENTER

MOTOMANIによる  
自動生産ライン

来賓、当社幹部による鏡開き



工場ご案内風景



小笠原インバータ事業部長の挨拶

祝賀パーティ会場風景

### ● 新工場の概要

- 工場名 「DRIVE CENTER」(ドライブセンタ)
- 総工費 約20億円(生産設備の増強、移設費を含む)
- 所在地 福岡県行橋市西宮市2-13-1
- 建設期間 2007年2月～9月(生産設備の移設期間含む)
- 建物面積 床面積11,800m<sup>2</sup>、一部2階建て

### ● 新工場の生産戦略

新工場は、世界シェア20%を達成するための旗艦工場となります。また米・欧・中に展開する海外生産拠点の新マザー工場として機能します。「競争優位はスピード／グローバル化」をコンセプトに、「製品」と「情報」が淀みなく流れ、連動する全体最適なくみ(プル生産システム)を構築します。最新のIT技術を活用してグローバル生産情報の一元管理を行い、世界一の品質・コスト・納期を実現します。

### ● 新工場の特長

- 「フレキシブル自動組立ライン」による大量生産  
当社の産業用ロボットにより各要素作業を機械化したセルモジュールをRFID技術<sup>\*2</sup>で連携し、当社のモーションコントローラ、サーボ、インバータを活用した自動生産ライン
- 「進化型セル生産ライン」による多品種少量生産  
当社の産業用ロボットによる定型作業の機械化と電子支援システムによる人手組立作業の効率化を実現する生産ライン

\*1 当社による推定

\*2 Radio Frequency Identificationの略、ID情報を埋め込んだタグから、電磁界や電波などを用いた近距離の無線通信によって人やものを識別・管理する仕組み。